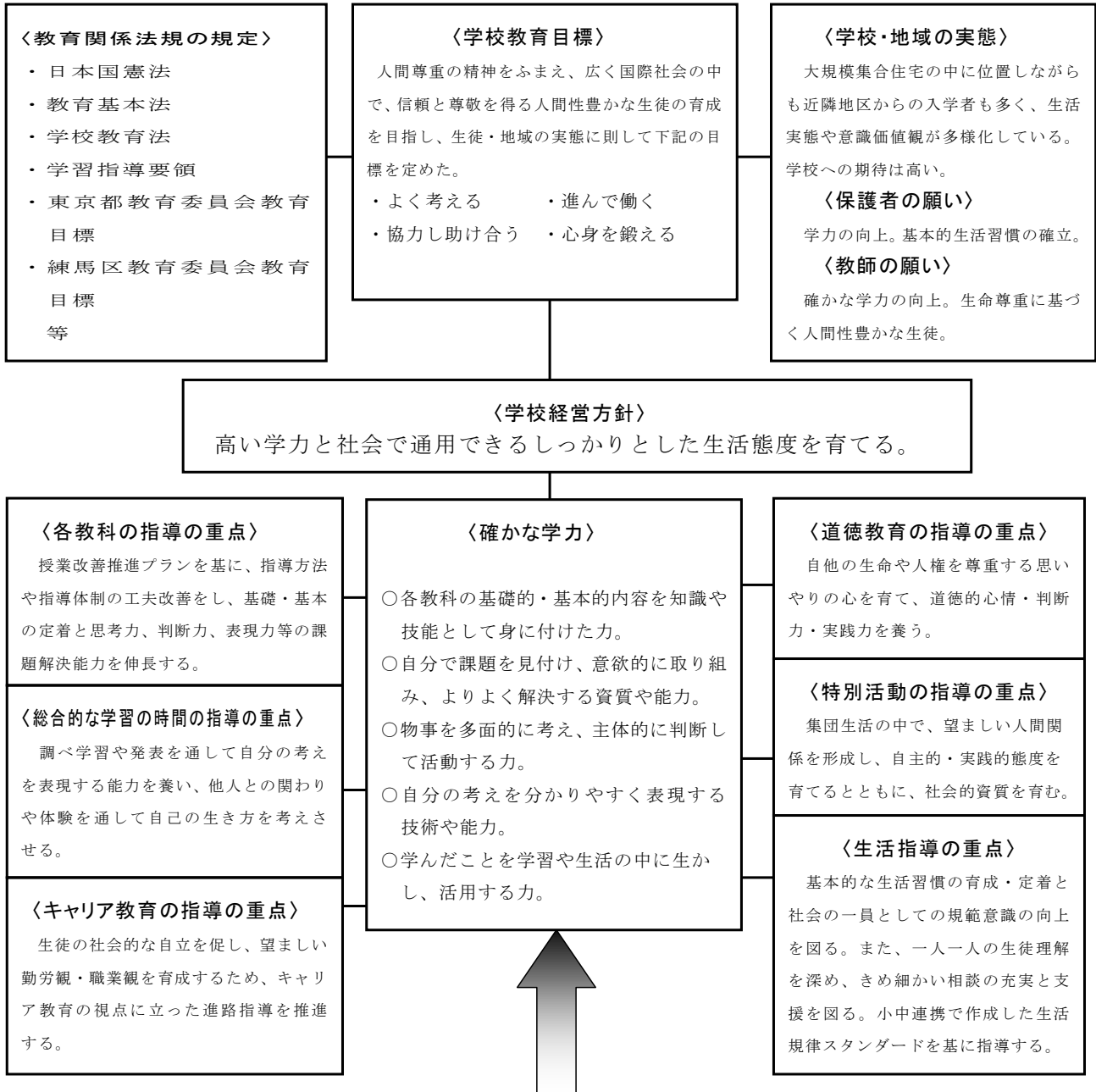


平成30年度 学力向上を図るための全体計画

練馬区立光が丘第二中学校



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
① 定期考査・学力調査の分析をする。	① 数学科における少人数授業の実施により、習熟の程度に応じた授業を展開し、生徒の能力や適性に応じた補充・発展の学習を進める。	① 人との関わりを大切にしたい研究授業を通し、学力向上のため指導法の工夫を行う。	① 毎日の授業における観点別学習状況把握のための資料収集を行う。	① 学校公開日や学校公開週間を通して保護者・地域との連携を強める。
② 観点別学習状況の評価を分析する。	② 英語科における少人数授業の実施により、生徒のコミュニケーション能力や学び合い、適性に応じた補充・発展の学習を進める。ALTとのTT授業により学習効果を高める。	② 課題改善カリキュラムを作成し実践する。	② 生徒による自己評価表（個人内評価と反省）の導入とその充実を図る。	② 外部アンケートを通し、地域の方と学校が一体となった教育を推進する。
③ 上記資料による学習状況・学習の実態を把握する。		③ 学校独自の「学力を向上図るための指導法の工夫」を作成し実践する。	③ 3学期制により、より丁寧かつ適切な評価評定の在り方についての研修と工夫を行う。	
④ 分析結果を反映させた授業改善推進プランを実施する。授業のねらいや目標を明確化させる。必要に応じて学習補充教室を実施する		④ 校内研修で教科、領域等の分科会を設定し、小中一貫教育の視点から授業改善を図る。		